

IOWebDOC

Windows 版 インストールマニュアル

<< 目次 >>

1	IOWEBDOCのインストール.....	3
	IOWEBDOC JAVA INTERFACE 環境設定例について	3
1.1	インストールの前に	4
1.2	インストール手順(32bit版)	4
1.3	インストール手順(64bit版)	8

1 IOWebDOCのインストール

重要事項

環境変数

スタンドアロン型の場合はApplication Runtimeの動作する環境に、ネットワーク分散型で運用している場合はStorage Serviceの動作する環境に設定して下さい。

以下の表に従い、環境変数を設定して下さい。

PATH	IOWebDocをインストールしたディレクトリ直下のbinフォルダを追加
CLASSPATH	IOWebDocをインストールしたディレクトリ直下のJavaIFフォルダを追加

環境変数は、システム環境変数(SYSTEMユーザ権限の環境変数)に追加設定して下さい。ユーザ環境変数(特定のログインユーザ権限の環境変数)に対して設定してもintra-martサーバ実行環境に対して設定が有効にならない場合があります。

環境変数の設定は、Windowsの環境変数設定画面で行います。[システムのプロパティ]ダイアログを開いて、設定をして下さい。

IOWebDOC JAVA Interface 環境設定例について

- ◎ インストールディレクトリが以下の場合
 IOWebDOC: C:¥IOWebDOC
 JAVA Interface: C:¥IOWebDOC¥JavaIF
- ◎ PATH 環境変数に以下を追加して下さい。
 C:¥IOWebDOC¥bin
- ◎ CLASSPATH 環境変数に以下を追加して下さい。
 C:¥IOWebDOC¥JavaIF

インストール時のパスの設定順番の注意

各製品のパスの設定が必要になりますが、パスの順番が異なると製品が正常動作しません。必ず以下の順番でパスを設定してください。

C:¥ysstool¥PDFMakeup¥bin;

C:¥ysstool¥AutoConverterEX¥bin;

C:¥IOWebDOC¥bin;

(上記のインストール先はデフォルトの設定を変更してインストールしています。マニュアルの通り設定すれば上記になりますが、インストール先を別途設定された場合は、その設定先を必ず指定ください。)

1.1 インストールの前に

32bit 版を使用される場合はIOWebDOCのインストーラ(iowXXsetupjp.exe:XX はバージョン番号)をマシン上に保存してください。

64bit 版を使用される場合はIOWebDOCのインストール用 ZIP ファイル (webdoc.XX.jp.64.zip:XX はバージョン番号)をマシン上に保存してください。

※弊社ホームページよりダウンロードしていただきましたお客様は解凍時指定されたフォルダより起動してください。

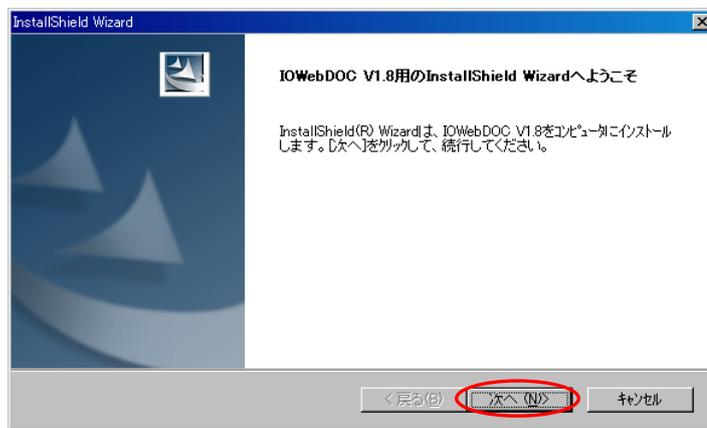
IOWebDOC の Java インターフェースは IOWebDOC インストールと、同時にインストールされます。

Java インターフェースのインストールは不要です。

1.2 インストール手順(32bit版)

1) iowxxsetupjp.exe をダブルクリックしてください。

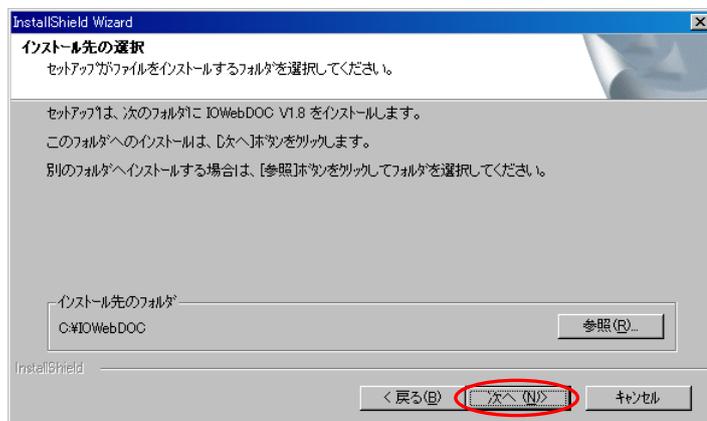
この画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。



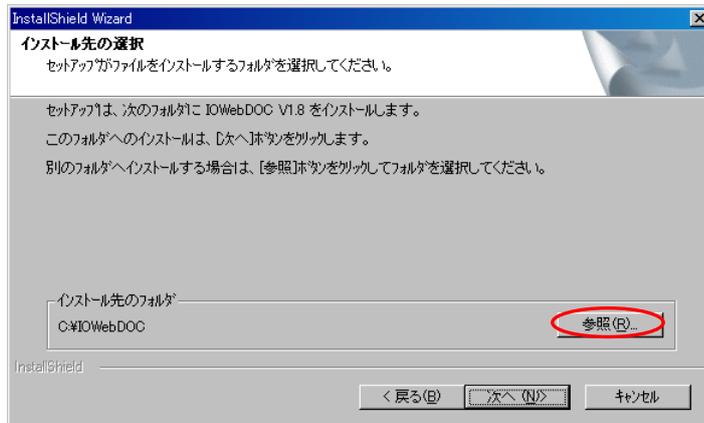
2) この画面が表示されます。

インストール先を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。クリックすると3)の画面が表示されます。

(インストール先のフォルダを変更する場合、「2-1」をご参照ください。ただし特別な理由がない限りインストール先フォルダは変更しないでください)

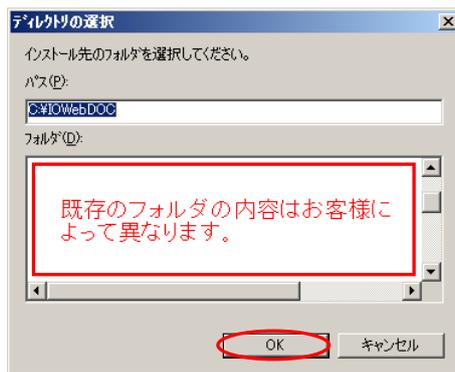


2-1 インストール先のフォルダを変更する場合は「参照」ボタンをクリックしてください。



2-2 この画面が表示されます。

インストール先を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。
クリックすると2)の画面が再度表示されます。



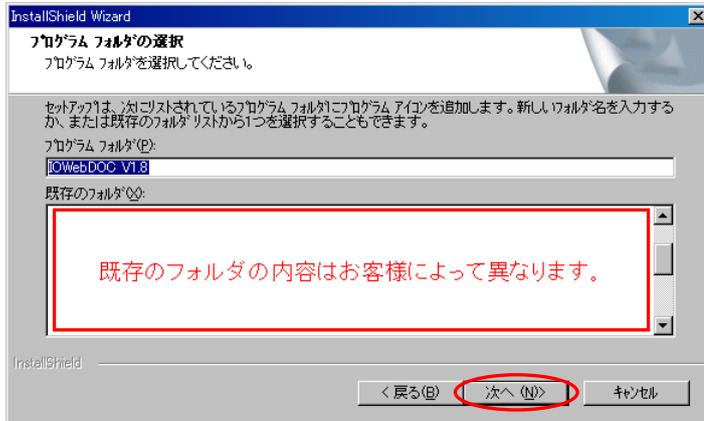
注意

バージョンアップ時にインストールフォルダ名を変更すると古い設定が引き続がれません。

3)この画面が表示されます。

プログラム フォルダを確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

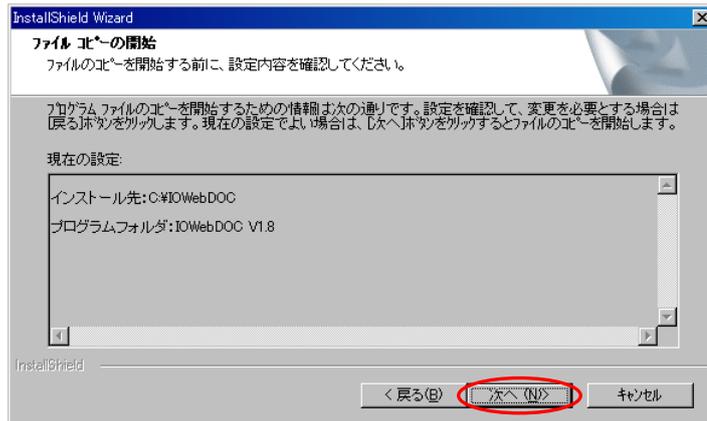
(プログラム フォルダ名を変更する場合は、名称を入力または既存のフォルダリストから選択し、設定してください。)



4)この画面が表示されます。

内容を確認して「次へ」ボタンをクリックしてください。

インストールが開始されます。

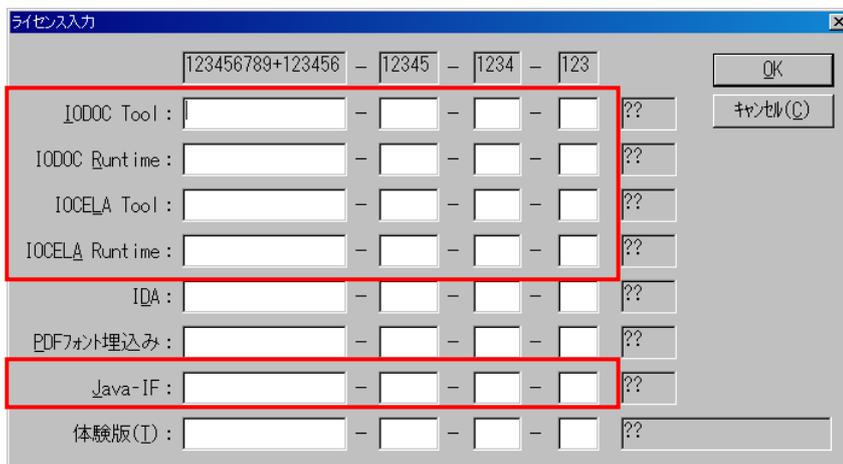


5)この画面が表示されます。ライセンスシート記載のライセンス番号を入力してください。

入力した内容が正しければ、各入力フィールドの右側にある「??」の文字が「OK」に変わります。

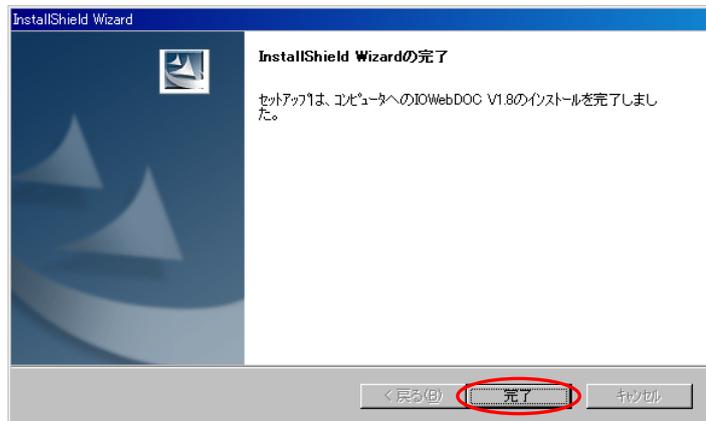
入力終了後、OK をクリックします。

※体験版をご使用の方は最下段の体験版の入力フィールドに体験版ライセンス番号を入力して下さい



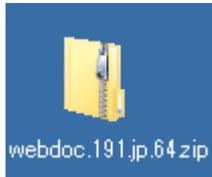
6)この画面が表示されます。

「完了」ボタンをクリックすれば、インストールは完了です。

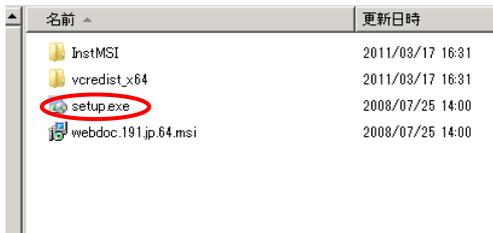


1.3 インストール手順(64bit版)

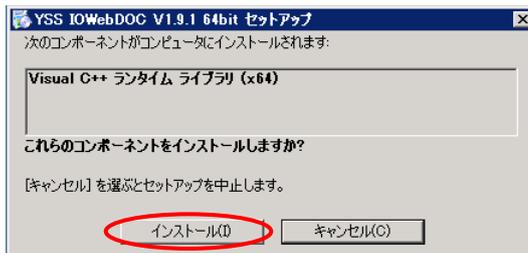
- 1) IOWebDOCのインストール用 ZIP ファイル (webdoc.XX.jp.64.zip:XX はバージョン番号)をダブルクリックして展開してください。



- 2) 以下に示すファイルが展開されます。 setup.exe をダブルクリックして実行してください。



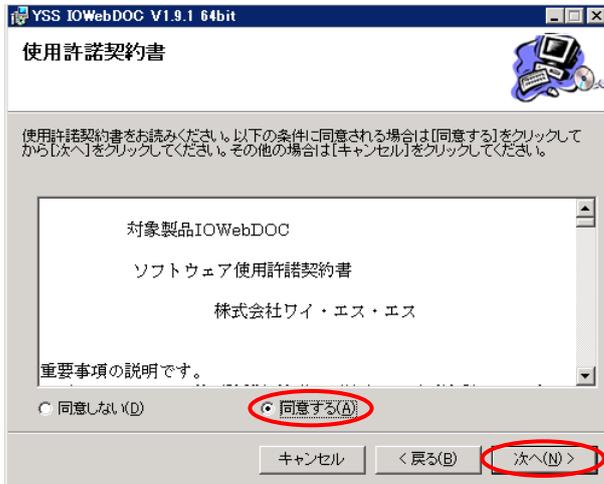
- 3) この画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。



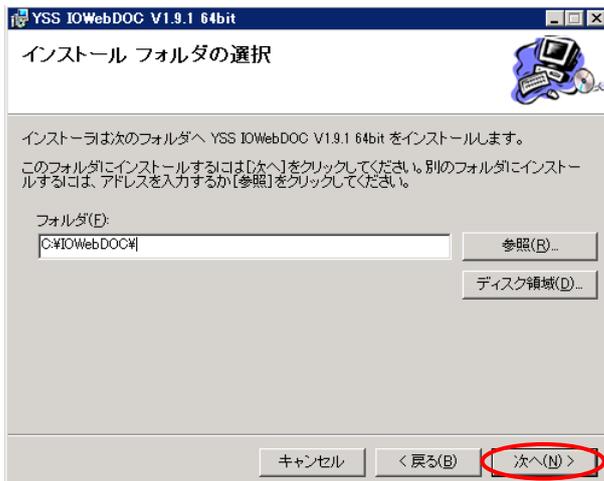
- 4) この画面が表示されます。表示内容を確認した上で「次へ」ボタンをクリックしてください。



- 5) この画面が表示されます。使用許諾契約書の内容を確認したのち、「同意する」を選択し「次へ」ボタンをクリックしてください。



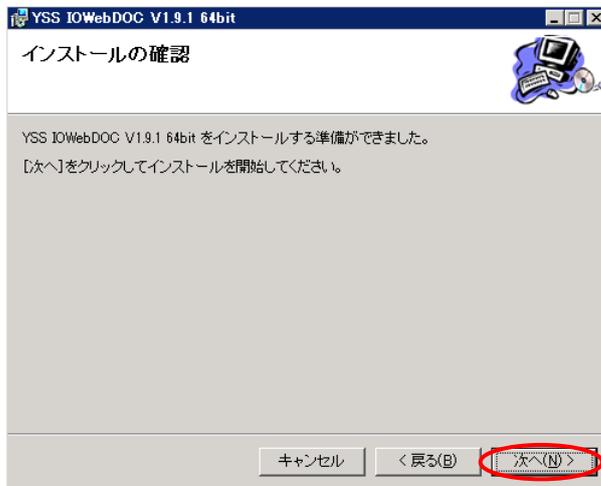
- 6) この画面が表示されます。インストール先フォルダを確認した上で、「次へ」ボタンをクリックしてください。特別な理由がない限りインストール先フォルダは変更しないでください。



注意

バージョンアップ時にインストールフォルダ名を変更すると古い設定が引き続がれません。

7) この画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。

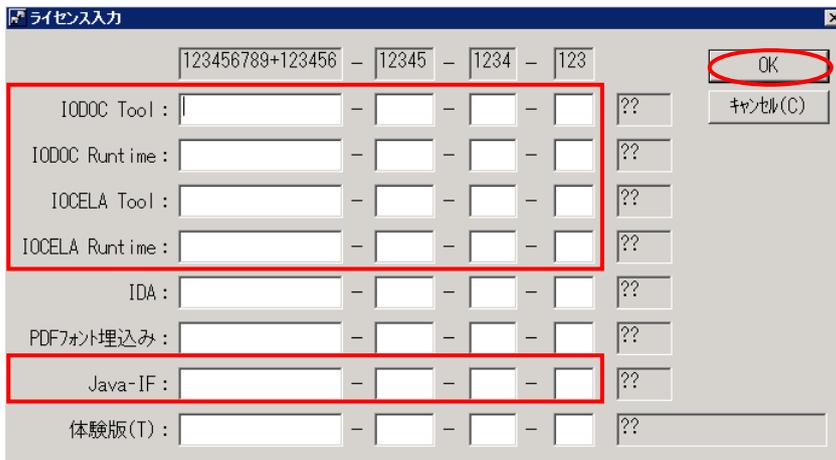


8) この画面が表示されます。ライセンスシート記載のライセンス番号を入力してください。

入力した内容が正しければ、各入力フィールドの右側にある「??」の文字が「OK」に変わります。

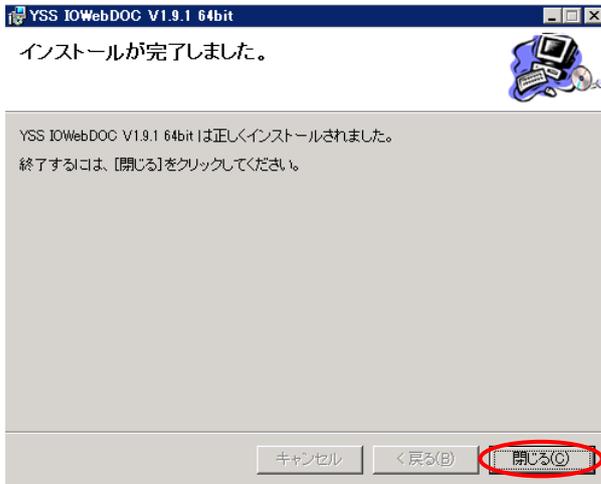
入力終了後、OKをクリックします。

※体験版をご使用の方は最下段の体験版の入力フィールドに体験版ライセンス番号を入力して下さい



9) この画面が表示されます。

「閉じる」ボタンをクリックすれば、インストールは完了です。



注意

ライセンス入力における注意点

インストール時にライセンスシートがない等の理由で 5)の操作をキャンセルした場合はライセンスの入力を下記の操作で入力してください。

- 1)「スタート→すべてのプログラム→IOWebDOCVXXX.→ライセンス」を選択する
(XXX はバージョン番号)
 - 2)ライセンス設定の画面が表示される。
 - 3)「ライセンスの入力」を選択する
 - 4)「ライセンスの入力」画面が表示される
 - 5)入力欄に正しいライセンス番号を入力するとフィールドの右側に OK の文字が表示される。
※もし NG の文字が表示されている場合はライセンス番号が正しく入力されていません。
正しく入力しても正常に動作しない場合は営業部 (eigy@iothe.co.jp)にご連絡ください。
 - 6)OK ボタンを押下してライセンス入力画面を閉じる
- 以上の操作により、ライセンスの入力は完了します。

※ Microsoft、PowerPoint、Word、Excel および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※ Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)及びその子会社の各国での商標です。

※ その他の製品名および社名は各社の登録商標または商標です。

※ 製品の仕様は性能向上のため予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

IM-EX 申請 PDF 押印オプション用 IOWebDOC guidebook

初版 : April 28, 2011

Copyright(C) YSS CO.,LTD.

TEL: 044-211-9332

URL: <http://www.iothe.co.jp/>